

## 1.はじめに

長生・山武地域は、千葉県の東部、首都圏の概ね 50～60 km 圏に位置し、成田空港、千葉港という空と海の国際交流拠点や幕張新都心、かずさアカデミアパークなど千葉新産業三角構想の基幹プロジェクトの各拠点に近接している。

また、今後の首都圏中央連絡自動車道の整備によって、県の中央部を貫く新たな軸状に位置し、首都圏及び国土軸の広域的拠点として、北総・東総地域と南房総地域をつなぐ交通の要衝として県土の均衡ある発展のためにも重要な位置にある。

さらに、本地域は房総の緑の丘陵、広大な九十九里平野、日本有数の自然海岸である九十九里浜という豊かな自然環境に恵まれ、先端技術産業の立地の進展、観光・リゾート地域としての成長も遂げてきたところであるが、一方で地域外へ就業人口や購買人口の流出が見られることから、地域全体としてより一層の魅力や自立性の向上が求められている。

このような状況の中で、本地域は平成 6 年 9 月に「地方拠点都市地域」に指定され、平成 8 年 3 月には基本計画について県の承認を受けた。基本計画の計画期間は、「平成 8 年度より概ね 10 年間」としていることから、平成 17 年度末で計画期間の満了を迎えることとなった。

しかしながら、景気の低迷等の影響により基本計画に位置づけた事業の進捗は、大きく遅れている状況にあり、今後、現計画に位置づけた事業の進捗率を高めるためには、引き続き基本計画に位置づけ、事業を推進していくことに有効性があると判断し、基本計画の計画期間を延長するとともに必要に応じ内容の修正を行ったものである。

新たな計画では、現計画の基本理念を継承し、「職・住・遊・学の備わった自立的な都市圏の形成」を目指すものとする。

(注) 本基本計画は「地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律(地方拠点法)」第 6 条に基づき策定したものである。

## 2. 計画の名称

本計画の名称は次のとおりとする。

長生・山武地方拠点都市地域基本計画－創造と交流のデュエットプラン－

## 3. 計画の期間

本計画の目標期間は、平成18年度より概ね10年間とする。

## 4. 地方拠点都市地域の概要

### (1) 地方拠点都市地域の名称

『長生・山武地方拠点都市地域』

### (2) 地方拠点都市地域の中心都市

『茂原市、東金市』

### (3) 地方拠点都市地域の構成

本地方拠点都市地域は、茂原市、東金市、山武市、大網白里町、九十九里町、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町の3市9町1村により構成される。面積は約754.86 km<sup>2</sup>である。

構成市町村の人口、人口増加率、面積

市町村名	人口(人) 平成17年	人口増加率(%) 平成17年/平成12年	面積(km <sup>2</sup> ) 平成17年
茂原市	93,262	-0.55	100.01
東金市	61,701	3.52	89.34
山武市	59,010	-2.65	146.38
大網白里町	49,545	5.33	58.06
九十九里町	19,012	-6.19	23.72
横芝光町	25,982	-2.77	66.91
芝山町	8,387	-0.17	43.47
一宮町	11,654	0.05	23.02
睦沢町	7,838	-4.92	35.59
長生村	14,545	4.70	28.32
白子町	12,849	-1.94	27.46
長柄町	8,562	-0.73	47.20
長南町	9,823	-7.57	65.38
合計	382,170	-0.10	754.86

資料：H17国勢調査速報値、国土地理院資料

